

第15回わが町とよなか戦争展

市民三〇〇人が見学



とよなか戦争展実行委員会が主催した戦争展が9月9日、10日、すてつで開かれました。

戦争は、61年前に終わりましたが、小泉首相の靖国参拝、米軍再編、教育基本法の改悪など戦争ができる国へさらに歩を進めようとする情勢に危機感を募らせるなかでの開催でした。

が各家庭に保管されていることを思わせられました。

戦争体験の証言者コーナーでは、「豊中原爆被害者の会」の方の被爆体験に涙し、戦争展では初めての、中国での加害体験の恐ろしさに胸を突かれました。音福亭MAYさんの「空つばの動物園」は、天王寺動物園で動物が殺されていた実話を語りと影絵で構成され、子どもたちにも好評でした。

2日間で三〇〇人を超える参加者があり、「子どもといっしょに来たが、子どもも真剣に平和について考えるいい機会になった」「ずっと昔のことですが、こういう企画は続けていかなければならないと

豊中独自の30人学級、教材 教具費の増額実施などを求める

「きらきら署名」を広げましょう!

学習会、そして、市民への宣伝

今年も豊中の子どもと保育・教育を守る会が「子どもたちの瞳がきらきら輝く、豊かな保育・教育の実現を!」ということで「きらきら署名」(通称)の運動をスタートさせました。

9月22日に署名出発の集会を福祉会館で開催。きらきら署名の請願項目について、各団体より熱のこもった発言がありました。

中でも、福祉保育労おひさま保育園の若い保育士さん。現在一歳児の子ども12人に対して3人の保育士の配置基準。そこでは、食べ物への関心を持たせ、トイレの指導、着脱で達成感を持たせるなど、一人ひとりへのかかわりの大切さを話され、絶対に改悪をさせてはならないと

思いました。などたくさん感想が寄せられました。

思いました。

また、留守家庭児童会指導員労組は、在籍数70人以上が、9校、50人以上が全体の6割を占めている中で、子どもが教室へ帰ってきたときのあわただしい状況を寸劇で再現してくれました。

全教は、豊中市独自で30人学級の早期に実現すること、この間予算がどんどん削られて、現場で買いたい教材・教具備品もなかなか買えない状況があり、教材教具費を30%増額してほしいという話をしました。

23日には、エトレ前で署名と宣伝をおこないました。16名が市民に「きらきら署名」を訴えてきました。

教育基本法改悪反対集会

秋の国会は「教育」が焦点

9月26日に国会が開会しました。

継続審議となつていている教育基本法「改正」案も検討されます。東大基礎学力開発センターが実施した小中学校長へのアンケートでも66%が「改正案に賛成できない」と答えています。教育関係者も「改悪するな!」の声をあげ

ています。

今月、豊中でも次の行動が予定されています。

教育基本法改悪反対市民集会
日時 10月18日(水)
午後6時

場所 桜塚公園(ぞうの公園)
集会後、デモ行進あり。

全教

375

2006年10月6日

とよなか

全教豊中教職員組合

〒561 0874 豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

HP http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/